

withコロナで 体育祭！

これまで経験したことのない年度が始まってから半年が過ぎ、不安な毎日を過ごしながらも、さわやかな風を感じる秋となりました。秋は、一年の中で最も充実し実り多き時期です。世間では「スポーツの秋」「文化・芸術の秋」などと言いますが、本来はこの西ノ京中学校でも、学校祭（体育祭・文化祭・合唱コンクール）が華々しく開かれる予定でした。

本校の学校教育目標である「心豊かで しなやかに 生きる力を育成する」の「生きる力」とは、これから変化の激しい社会において、子どもたち一人一人が自らの個性を發揮し、困難な場面に立ち向かい、未来を切り拓いていく力です。そして、このために必要となるのは、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心（人間性）」、たくましく生きるための「健やかな体（健康や体力）」の3つの要素です。これらは、けっして教科の授業だけで身に付くといったものではなく、家庭や地域と一緒にになって育むものであることから、これまで学校で取り組んできた日頃の学習活動の成果を発表し、保護者や地域の皆様にもご覧いただくこの学校祭という機会は、大変意義のあるものだと考えています。

しかし、ご存じのように、このコロナ禍で学校行事そのものを大きく変更せざるを得ませんでした。「総合的な学習の時間」の学びの学年発表を中心とした文化祭は中止し、合唱コンクールも本校体育館での学年別発表に変更しました。そのような中、体育祭だけは朱雀グラウンドの広さを生かして感染防止対策を整えれば可能と判断し、9月29日（火）、天候にも恵まれて実施することができました。実はこの体育祭は、今年度初めて全校生徒が一堂に集う機会となったのです。プログラムはいつもの体育祭とはずいぶん違うものになりましたが、生徒の皆さんの表情を見ていると、これまでと同様、自分自身の持てる力を發揮し、全員でひとつのこと取り組むことで、他者を理解し、仲間として心の絆を深め、互いに成長していく素晴らしい行事になったと考えています。



当日、朝早くから生徒の応援に駆け付けてくださった保護者の皆様、人数制限や観戦エリアの削減など不自由をおかけいたしましたが、本当にありがとうございました。また、感染防止対策にご協力いただきましたPTA役員の皆様、おかげさまで受付や駐輪等スムーズに行うことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。



走る生徒会旗！



集う学級旗！



経験と意欲で作り上げた

3年 最後の合唱コンクール!

10月16日（金），本校体育館で3年生の合唱コンクールが行われました。突然の事情により音楽の授業が休止する中，3年の学年は，「1・2年時の合唱コンの取組で培った経験があるのだから，自分たちの力で絶対成功させる！」と，本当に自分たちの力でこの1か月半を頑張ってきました。そもそも，今年は実施できるかどうか危ぶまれた中で，西ノ京中学校自慢のひとつである合唱コンクールの灯を消してはならないと，3年生が行動でその心意気を示してくれたことが何よりもうれしく思っています。

当日は，最も心を動かされた合唱を『72期生賞』として自分たちの投票で選び，1・4組が受賞しましたが，それぞれのクラスの想いがこもったすべての歌声は，さまざまなかたちで聴く人に響きわたったのではないでしょうか。



君の隣にいたいから

